

2023（R5）年度

<2023（R5）/4/1 - 2024（R6）/3/31>

事業報告・活動計算書等

目 次

1 事業報告

- (1) 全 体 1 p
- (2) 山口市市民活動支援センター「さぼらんて」 4 p
- (3) ほっとサロン中市「まちのえき」 21 p
- (4) こども明日花プロジェクト 24 p

2 活動決算

- (1) 決算報告書 35 p
- (2) 各種内訳 43 p

■令和5年(2023年)度法人全体事業報告■

特定非営利活動法人山口せわやきネットワークは、市民の『まちづくり意識向上』『まちづくり参加』『まちづくり活動展開』のしくみづくりを目指して、平成15(2003)年6月11日に法人としてスタートし、15年目となる平成30(2018)年5月に税制上の優遇措置を受けられる認定資格を取得しました。

この制度をフルに活用し、令和5(2023)年度も、山口県共同募金会の赤い羽根テーマ募金や、コロナ禍の子育て家庭への支援等に対する協力を呼びかけ、800万円を超える寄付を集めることができました。

今後もNPOの柔軟性や機動力を生かして、市民を巻き込みながら誰もが幸せに暮らせる地域社会に一層貢献していきたいと考えています。

事業においては、開設22年を経た、**山口市市民活動支援センターさぼらんて**の運営（山口市委託）、高齢者等交流施設**ほっとさろん中市まちのえき**の運営（山口市委託）とも、コロナ禍では万全の感染防止対策等により、運営を続けてました。平成28(2016)年度にスタートした**こども明日花プロジェクト**は、新型コロナ緊急支援に加えて、2022年度から休眠預金活用事業や日本財団子ども第三の居場所など加わり、総事業費が6,000万円と以前よりも大きく増加しており、寄付金、委託料や民間助成金など、多様な財源を確保し運営しています。長引いたコロナ禍も、5類移行に伴い、こども食堂なども通常開催に戻ってきました。学習会や居場所事業などは感染対策にも配慮しつつ、通常どおり実施しました。

さぼらんてもまちのえきも、同じく、感染対策には配慮しつつも、特に活動の制限はなく、個人や団体等による利用もコロナ前の状況に戻りました。

今後も各事業とも、職員や利用者の安全に配慮しながら、円滑な事業実施に努めるとともに、2024年は法人設立21年になり、初心に戻り、「市民参加によるまちづくり」の実現に向けた取り組みを続けていきます。

I 会 議

（1）総会

①通常総会

- 日 時：5月27日（土）10:00～11:30
- 場 所：山口市市民活動支援センターさぼらんて、オンライン（zoom）
- 出席者数：正会員10名（内、書面表決出席3名、委任状3名）、監事1名、職員1名
- 内 容：令和4（2022）年度事業報告・収支決算、監査報告
令和5（2023）年度事業計画・活動予算

（2）理事会

①第1回

- 日 時：5月10日（水）19:00～20:20
- 場 所：山口市市民活動支援センターさぼらんてから zoom（3名）
- 出席者：理事3名（渡辺理事、高野理事、児玉代表） 職員は欠席
- 内 容：＜報告＞令和5（2023）年度活動予算、職員体制
＜協議＞令和4（2022）年度事業報告、収支決算、総会等
任期満了に伴う役員改選について
子ども第三の居場所・救拠点の車両購入に係る見積依頼について

②臨時（総会終了後）

- 日 時：5月27日（金）11:30～11:45
- 場 所：山口市市民活動支援センターさぼらんて
- 出席者：理事3名（渡辺理事、高野理事、児玉代表）
- 内 容：役員改選により、総会で選出された理事3人の中から代表の選出

③臨時（車両購入に関するもの）

- 日 時：6月6日（火）18:00～18:30
- 場 所：山口市市民活動支援センターさぼらんて、zoom
- 出席者：理事3名（高野理事、藤岡理事、児玉代表）、職員欠席
- 内 容：＜協議＞子ども第三の居場所・拠点の車両購入について
（見積合わせによる発注先の決定）

④臨時（最低賃金引上げに係るに賃金見直しに関するもの）

- 日 時：9月11日（月）18:00～18:30
- 場 所：山口市市民活動支援センターさぼらんて、zoom
- 出席者：理事3名（高野理事、藤岡理事、児玉代表）、職員欠席
- 内 容：＜協議＞最低賃金引き上げに係る職員の賃金（基本給）とパートの時給単価の
引き上げについて

⑤第2回

- 日 時：11月28日（火）13:30～14:30
- 場 所：山口市市民活動支援センターさぼらんて、zoom
- 出席者：理事3名（高野理事、藤岡理事、児玉代表）、職員欠席
- 内 容：＜報告＞・令和4（2022）年度事業経過報告、予算の執行状況について
＜協議＞・賞与支給について

⑥第3回

- 日 時：2月26日（月）18:00～19:20
- 場 所：山口市市民活動支援センターさぼらんて、zoom
- 出席者：理事3名（高野理事、藤岡理事、児玉代表） 職員1名
- 内 容：＜報告＞令和5（2023）年度事業経過報告
＜協議＞令和5（2023）年度決算見込み
令和6（2024）年度事業計画及び活動予算
日本財団子ども第三の居場所・大内拠点申請について
＜その他＞休眠預金助成事業の申請について

⑦臨時（賃金見直しに関するもの）

- 日 時：3月22日（金）18:00～18:30
- 場 所：山口市市民活動支援センターさぼらんて、zoom
- 出席者：理事3名（高野理事、藤岡理事、児玉代表）、職員欠席
- 内 容：＜協議＞職員の待遇改善に係る基本給の見直し（ベースアップ）とパートの時給単
価の引き上げについて

（3）監 査

- 日 時：5月16日（火）18:00～19:00
- 場 所：山口市市民活動支援センターさぼらんて

Ⅱ 事 業

(1) 山口市市民活動支援センター「さぼらんて」に関する事業 《定款事業①②③》

○令和5年度山口市市民活動支援センター運営事業

◇山口市（協働推進課）委託事業

山口市市民活動支援センター運営事業：委託契約書及び委託仕様書に基づき、「施設管理」「普及・啓発」「相談」「人材発掘・養成」「事務局支援」「ネットワーク」の6機能をベースとして事業実施。新型コロナの収束に伴い、ほぼ通常利用であったが、引き続き、感染対策にも配慮し、利用者に対して、安心安全の確保を心がけた。

(2) ほっとさろん中市「まちのえき」に関する事業 《定款事業①》

○令和5度高齢者等交流施設運営事業

◇山口市（高齢福祉課）委託事業

高齢者等交流施設運営事業の委託契約書に基づき、運営法人として「休憩機能」「交流機能」「相談機能」「情報機能」を基本機能として設定、「移動支援機能」を付加機能として実施しました。特に「高齢者に向けたデジタル情報活用の提案の充実」をメインに取り組んだ。コロナ対策として、引き続き、利用者の感染予防対策に配慮して運営しました。

(3) こども明日花プロジェクトに関する事業《定款事業②③》 ※＜＞は財源

○学習支援・居場所づくり＜山口市委託事業・寄付＞

○見守り強化事業＜山口市委託事業＞

○こども食堂支援センター＜山口県委託事業＞

○ひとり親世帯への支援（シングルカフェ）＜寄付等＞

○こども食堂・地域食堂、小郡中・宮野中 学校朝ごはんなど＜WAM助成（補正）＞

○資金調達 委託、助成金のほか共同募金、企業、一般など

○新型コロナ緊急支援＜WAM助成（補正）他＞

・ひとり親家庭支援「みんなにエール！弁当」「ごちそうさまプロジェクト」

○休眠預金活用事業通常 2021「県こども食堂ネットワーク強化事業」＜休眠預金＞

○日本財団 子ども第三の居場所・Waku② Base（わくわくベース）開設・運営＜日本財団＞

(4) その他の市民活動《定款事業①②》

①ホームページの更新

当法人としてのホームページ <https://yamaguchi-sewayaki.com/>

各事業の紹介と賛助会員募集（カード決済可）

②講師等派遣

特になし

《認定NPO法人山口せわやきネットワーク定款抜粋》

【目的】本会は、市民及び市民団体を応援し、もって、みんなの幸せを考え誰もが住みよいまちづくりを目指した新しい社会システムの構築を図ることにより、社会の公益の増進に寄与することを目的とする。

【事業】本会は目的を達成するため、次の事業を行う

①市民のまちづくり意識向上のしくみづくり事業

②市民のまちづくり参加のしくみづくり事業

③市民のまちづくり活動展開のしくみづくり事業

④その他、本会の目的を達成するために必要な事業

■令和5(2023)年度山口市市民活動支援センターさぽらんて事業報告■

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

I 委託契約に基づく事業報告

1. 山口市協働推進プランの位置づけ(抜粋)

(1) 目指す協働による地域づくりの姿

地域を思い、人々が集い行動する「地域経営」へ
～共に話し、共に汗をかく～

(将来にわたり安心して暮らし続けることのできる地域社会を目指す)

地域経営の定義

地域全体で地域の将来ビジョンを共有し、地域の課題解決に向けて地域内外の様々な団体が参加、協議し、役割分担しながら、地域の持てる資源(人、もの、金、知恵)を有効活用して地域を動かし、持続的に地域の暮らしを支えていくこと。

(2) 前期推進計画

基本事業 市民活動の育成と支援の強化

推進項目① 市民活動団体への支援の強化

- ・ 資金調達に向けたクラウドファンディング活用講座や各種助成金制度の情報提供等
- ・ 市民活動団体の活動に関心を寄せる市民の増加を促すため、市広報誌での活動周知や市立図書館等の公共施設における展示やパンフレットの設置などの広報活動
- ・ NPO 法人の新規設立促進、安定的運営の支援
- ・ 市民活動支援センターを中心に、市民活動団体の人材育成に向けた取り組みを推進

② 市民活動団体と市との連携体制の構築

- ・ 市民活動団体と市の担当課等との円卓会議、話し合いの場づくり

③ 各団体間の協働の取組に対する支援

- ・ 市民活動団体や事業者、地域コミュニティ団体等が互いに連携し、幅広い活動の展開に向けた、市民活動支援センターや地域交流センターにおける連携支援の強化
- ・ 商工団体等を協働し、事業者に向けた市民活動団体の活動の認知度向上と、市民活動団体と事業者の協働による社会の課題解決に向けたマッチング支援

④ 市民活動支援センターの機能強化及び環境整備

- ・ 地域と市民活動団体とのマッチング
- ・ 地域住民が市民活動に参画するためのきっかけとなるプログラムの作成
- ・ 子どもや若者の社会貢献活動への参加促進プログラムの作成
- ・ 幅広い世代の市民が交流できる市民活動支援センターの環境整備
- ・ 市民活動支援センターを中心に、高校生や大学生に対して、地域や市民活動等のボランティアのマッチングを行う仕組みづくりの構築

2. 基本目標

市民活動団体からの相談対応、伴走支援を基本に以下を重点テーマとする。

個性豊かで活力のある自立した山口市に向けて、

- (1) 市民意識の啓発・参画の促進
 - 市民と市民活動団体とのマッチング
 - HP、SNS によるボランティア情報の充実
 - 若者の社会貢献活動への参加促進のプログラムづくり
- (2) 市民活動団体、地域コミュニティ・企業・行政など多様な主体の連携に向けての話し合いの場づくり
 - テーマ型の円卓会議（テーマ予定：病気と仕事の両立支援など）
- (3) NPOの活動基盤の強化・自立支援
 - 事務局への伴走支援
 - 情報発信支援
 - リモート会議の支援 など

1 施設管理

(1) 開館日

水曜日及び年末年始（12／29～1／3）、祝日（土日を除く）を除いた日を基本の開館日としている。

開館日数：295日

休館日数：70日

(2) 開館時間

9：30～18：00

※利用団体の講座などの準備に合わせて、スタッフは9時より出勤

登録団体の時間外利用は柔軟に対応

(3) 各種手続き書類・フォームの配置

①市民活動団体向け

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 登録市民活動団体への提供サービスのしおり | <input type="checkbox"/> 市民活動団体登録・変更用紙 |
| <input type="checkbox"/> 会議利用報告書 | <input type="checkbox"/> ブログ反映機能申請書 |
| <input type="checkbox"/> 印刷機利用カード | <input type="checkbox"/> 機材借用書（貸出） |
| <input type="checkbox"/> 持込みイベント申込書・報告書 | <input type="checkbox"/> インターネット使用簿 |
| <input type="checkbox"/> 窓口業務依頼申請書 | <input type="checkbox"/> ボランティア募集フォーム |

②内部用

- | | | |
|---|-----------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 相談内容入力フォーム | <input type="checkbox"/> 機材貸出予約簿 | <input type="checkbox"/> 拠点利用フォーム |
| <input type="checkbox"/> 日計表（日別集計表・累計表・月別平均表） | <input type="checkbox"/> 職員業務フォーム | |

※内部用書類は、kintone アプリを作成し、共有する仕組みを構築

2 普及・啓発及び情報収集・提供

積極的に情報収集を行い、市民活動の意義、社会課題の共有というメッセージ性を大切に発信した。今年度、地元企業と協働のもと開催した SDGs 関連事業（COOLCHOICE チャレンジコンテスト）では、さぼらんて HP（特設ページ開設）とインスタグラムを連動させた情報発信を行った。また、東日本復興関連の活動について動画を作成し YouTube にて配信を行った。その他、団体紹介のミニポスター展示をするなど、来館される方への普及・啓発も充実させ、ホームページへの支援情報、団体情報、講座レポートなど引き続き情報集積にも力を入れた。

また、市民目線のカジュアルな情報紙「ええやん新聞」を子育て世代の社会貢献意識の啓発を目的として、市内幼稚園、保育園、小・中学校へ配布のほか、全地域への回覧とした。

講座など事業実施後はホームページ上にレポートを掲載するとともに、「円卓会議」など実施後はかわら版も作成し、事後の広報にも努めた。

（１）市民活動に関わる情報の収集及び整理

- ①山口市内の市民活動情報…団体ごとの個別紹介ミニポスターを作成、掲示。
- ②NPO 支援情報…全国の支援情報や NPO 関連図書を配置。
- ③市外の市民活動情報…全国の支援センターや NPO の情報を配置。
- ④助成金情報…年間助成金一覧表を、分野別、締切日別に作成し掲示。
年間スケジュール、募集中の助成金ラックを設置し、探しやすい工夫をした。
- ⑤ボランティア情報…外から見えやすい入口付近に専用コーナーを設置した。
- ⑥中央図書館における市民活動情報ラックの設置…さぼらんて情報の他、団体パンフレット等設置。

（２）広報紙等の発行

1 年間の市民活動支援の事業報告や円卓会議などのかわら版を発行し支援内容を伝える他、山口市まちづくりアンケートにある「社会のために何か貢献したい（80.1%）」という市民に対しての啓発紙「ええやん新聞」にも力を入れ、市民と市民活動をつなぐ発信を心がけた。編集作業には市民広報スタッフを巻き込み、社会課題の当事者意識を広げる市民目線を大切にした。引き続き、SNS での発信にも力を入れ、ターゲット毎に Facebook、LINE 公式アカウント、Instagram を使い分け発信した。

①さぼらんて事業情報

○事業方針及び事業一覧『令和 5 年度さぼらんて主な事業・サービス保存版』

【対 象】 登録団体・地域交流センター・関係各所

【発行部数】 600 部

【形 態】 A4 サイズ 両面 2 つ折り

○『令和 4 年度事業報告ダイジェスト版』

【対 象】 登録団体・地域交流センター・関係各所

【発行部数】 600 部

【形 態】 A3 サイズ 両面 2 つ折り

○さぼらんてかわら版『環境と SDGs』

【対 象】 市民、登録団体、地域交流センター、関係各所

【発行部数】 1000 部

【形 態】 A4 サイズ 4P

②助成金情報

ア. 助成金スケジュール保存版の発行

主にさぼらんにて登録している任意団体が利用しやすい山口県域の助成金情報を「助成金スケジュール保存版」として助成金コーナーに配置。

イ. LINE 助成金情報配信

助成金情報配信希望の団体に向け、情報を随時配信。スマホからすぐにアクセスできるよう詳細情報へのリンクを貼り、チラシの画像も添付。

【対 象】LINE 助成金情報希望団体・登録者27名へ配信

ウ. Facebook タイムラインの活用

Facebook を利用している団体に向けて、助成金情報をシェア。③ええやん新聞

身近な社会課題とともに、市民活動や市民主体の取り組みを市民目線で発信することで、この層の新しい価値観との出会いや気づきを刺激していく。さらに社会課題のために自分にもできることがあると思えることで、まちづくりへの参加・参画のきっかけを創出し、誰もが心豊かに暮らせる山口を目指す市民を増やすことを目的とする。

【紙面制作での工夫】

- 市民活動をより身近に感じ、共感につながるよう市民広報記者による「市民目線」で発信した。
- 市民広報記者と発行目的を常に共有し、軸がブレない紙面づくりを心掛けた。
- 記者自身の「知りたい!」「伝えたい!」「感動した!」の直感を尊重した。
- 市民広報記者の研修、テーマごとの勉強会や必要に応じて行った。
- 毎号1面では、テーマに沿った社会課題に取り組む「個人の思い」を発信した。

【発行内容】

- ・発行回数：年2回（10月1日／2月1日）
- ・発行部数：各号 30,000部
- ・対象：市民（主に20代～50代の子育て世代想定）
- ・配布先：小・中学校、市内公立幼稚園、一部私立幼稚園、山口市内の大学、21地域交流センター、子育てひろば、山口市全地域回覧、道の駅、山口市内マルキュウ9店舗、他関係各所

【特集内容・テーマ】

今年度は「働き方」をテーマに、前期は自分の置かれた立場での自分らしい働き方、後期はやりがいやお金など働く上で大切なことについて発信した。

<28号> 特集：私らしく働くために

- ええやんピープル 小西凡子さん（ドットスタイル代表）
- 働きたいでもどんな働き方が自分に合うの？（NPO法人あっと、田舎の保健室、山口市ファミリーサポート・センター）
- これってヤングケアラー？（山口県ヤングケアラー専門相談窓口）
- 働くために自己理解を深めよう（ほうふ若者サポートステーション）
- 進化していく魚屋（さかな場 HeyHey）
- クイズ（さかな場 HeyHey）・編集後記

<29号> 特集：やりがいをもって働くために

- ええやんピープル 福山枝里さん（認定NPO法人こどもステーション山口 事務局長、山口友の会 副リーダー）
- お金の価値を感じよう！（kikkake、山口友の会）

- 子どもフリマの仕掛け人（kikkake 働き方応援事業）
- 目指すは「福祉ベンチャー」（合同会社唯美会ダイクロック・ワークス）
- 理想の暮らしの実現（薪窯パン「菊本」）
- ええやん記者にインタビュー（さぼらんて）
- クイズ（中華そば深水）・市民記者募集（さぼらんて）

【成 果】 市民意識の啓発、市民記者の人材育成を以下のとおり評価

■読者アンケート集計

項 目	2 8 号	2 9 号
より身近に市民活動を感じた(理解・関心が高まった)	33.9%	32.1%
社会課題(特集内容)について考えるきっかけ、共感につながった	30.4%	34.0%
情報提供を活用	7.1%	5.7%
はじめの一步につながる勇気、元気、やる気につながった	7.1%	3.8%
さぼらんての周知につながった	3.6%	9.4%
その他	17.9%	15.1%

- ・シングル家庭の方から「シングルマザーの方を応援したい」「私自身シングルマザーなので小西さんの活動には感銘を受けました」など、たくさんの応援・共感メッセージが届いた。
- ・中面で取り上げた自分に合う働き方の紹介では「今の私の状態だ」など、興味を示す声が多く聞かれた。
- ・事例を紹介したリステッププログラムを利用してみたいという問い合わせがあり、実際にNPO法人あっとにつなぐこともできた。
- ・「ヤングケアラー」の記事は「今頃」という声もあったが、子ども向けに発信したのが功を奏したのか、しっかり大人にも響いていたようだ。
- ・福山さんのようにどっぷりNPOという方の半生に、「誰かのためにがんばる姿が素晴らしい」という声をいただいた。
- ・中面の特集で取り上げた子どもフリマでは、お金は使う・貯めるだけではなく寄付するという方法もあることを知ってもらえた。
- ・紙面で市民記者の募集を行ったが、2名の応募があった。さらに記者応募前にどんな様子かを見たいからとモニター会議に来てくださった方もおられ、ええやん記者の働き方の魅力も市民に伝えることができた。

(3) ホームページ

情報量が多く、検索のしにくさと管理の煩雑さに課題を抱えていたため、プロボノ支援チームの指導の下、情報の整理見直しを行い不要ページの削減と新規にサイトマップを追加した。併せて、ボランティアマッチング率向上を目指した工夫、誤解のない伝え方、を意識し加筆、修正のうえ改善を図った。

■アクセス数は、62,662件。実人数22,528人。アクティブユーザー数：61件/日。

①登録団体ブログ反映機能の利用

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	H30年度
利用団体数	329	322	322	319	311	311
更新団体数	33	46	41	47	42	52
年間記事数	976	1585	1,310	1,460	1,561	1,362

登録団体（329）の基本データは全て掲載。

②ホームページ等での情報発信

お知らせ：11件 講座等レポート：12件 さぼろぐ（ブログ）19件

（4）SNSの活用

- ①Facebook：さぼらんての近況報告及び団体活動を発信。
- ②Instagram(ボランティア)：主に市民に向け、ボランティア募集情報を発信。
- ③Instagram(ええやん)：主に市民に向け、ええやん新聞の裏話などを発信。
- ④Instagram(SDGs)：市民に向け、SDGs 企画事業における市民からの投稿内容等を発信。
- ⑤LINE 公式アカウント：登録者に向け、主にさぼらんてでのイベント情報を発信。

	Facebook	Instagram (ボランティア)	同 (ええやん)	同 (SDGs)	LINE
いいね、フォロワー数	986	561	244	173	244
年間記事数 2023. 4～2024. 3	43	45	41	154	81

（5）情報交流コーナーの活用（「さぼらんて」前面フロア）

- ①市民活動紹介コーナー：団体紹介ミニポスターを作成し掲示。
- ②助成金コーナー：展示場所を前面に出しPR。
- ③ボランティア情報コーナー：ホームページのボランティア情報を印刷し掲示。

（6）マスコミ等の活用

報道機関へ広報紙の配布及び事業ごとのプレスリリースを実施。

（7）市役所ロビーなどにおける市民活動出張展示

①市ロビー展示

写真やキャッチコピーで団体の活動内容が一目でわかる「市民活動紹介ポスター」、ええやん新聞取材の裏側などを展示し、幅広い市民に向けて市民活動情報の提供を行った。

- 【展示内容】・さぼらんて広報紙（ええやん新聞） ・さぼらんて事業報告・事業予定
・団体パンフレット等 30 団体 ・登録団体活動紹介ミニポスター58 団体
・歴代ええやん新聞「取材の裏側」展示
・さぼらんて登録団体「ママバンド」の地域貢献賞受賞パネル掲示

【展示場所】開催日：令和5年3月24日(金)～4月14日(金) 場所：山口市役所ロビー

②山口市立中央図書館

市民活動団体のパンフレットやさぼらんての広報紙を設置し、図書館を活用しているがさぼらんてにはなかなか足を運ばない市民へ市民活動の周知を行った。

- 【展示内容】・団体パンフレット等 18 団体 ・ボランティア募集情報
・さぼらんて広報紙（ええやん新聞）・さぼらんて事業報告

【展示場所】山口市立中央図書館 子どもコーナーそばのラック

3 相 談

（1）相談・問い合わせへの対応

市民の市民活動への参加や市民活動団体の活動充実のために対面・電話・メール、Zoom による相談に応じ、助言を行い、内容によっては、他機関・窓口を紹介しマッチング。

○相談件数 436件 （来所 218件、 電話等 218件）

○問い合わせ件数 204件 （来所 99件、 電話等 105件）

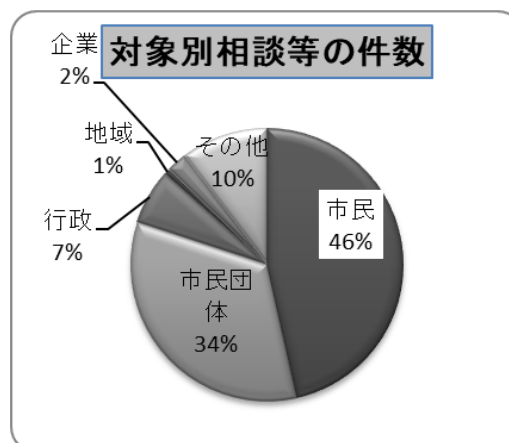
(2) 相談・問い合わせの内容の一覧化

【参考】相談等の内訳

(相談と特記事項がある問合せの一覧を分類したもので、相談数値集計とは一致していません。)

《対象別》

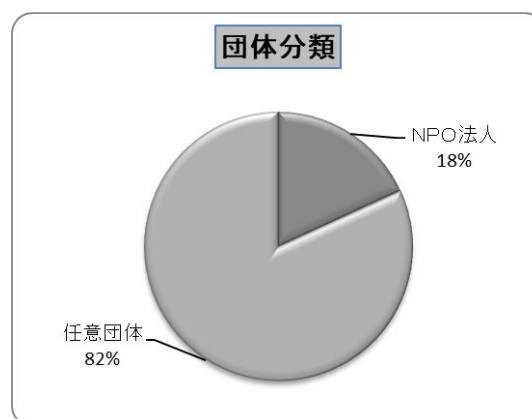
対 象	件 数
市民	289
市民団体	209
行政	41
地域	4
企業	15
その他	64
合 計	622



団体の相談件数が、9%増加。コロナが5類になり、団体の活動が増え、助成金や事業計画の相談が増加。一方で、寄付の問い合わせは減少。昨年度は多く見られた学校用品の寄付の問い合わせが今年度は少なくなっていた。

《団体からの相談分類》

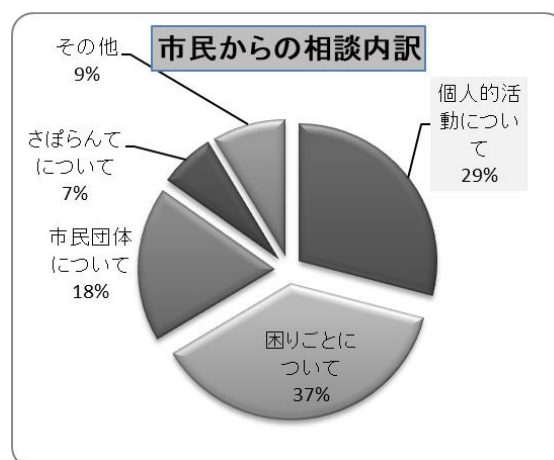
団体分類	内容	件数	
NPO法人	運営	14	38
	活動	21	
	その他	3	
任意団体	運営	78	171
	活動	73	
	その他	20	
合 計		180	209



新規の団体が増え、立ち上げに関してや事業計画の相談等が増加。又、高齢者の多い団体からは、パソコンに掛かる事務支援の相談が増加している。

《市民からの相談内訳》

内 容	件数
個人的活動について	84
困りごとについて	108
市民団体について	53
さぼらんてについて	19
その他	25
合 計	289



ホームページの改善により、猫の引き取りなど対応不可の問い合わせ件数が減少。又、団体の活動が認知され始め、市民が団体に直接アポをとる傾向がある。

4 人材発掘・養成

市民活動団体の永遠の課題、人材不足・資金不足を解決するための寄付集めや事務力の簡素化、などに焦点を置き講座を実施。

全ての講座において、講座レポートをホームページにアップし、団体支援の情報として蓄積していった。

(1) 講座・セミナーの開催

①活動充実講座

	講座・研修	日付	講 師	参加者
1	寄付先を選んでもらうための実践型ワークショップ	4月23日(日)	柿沼瑞穂氏	18名
2	Google フォーム活用(入門編)	5月23日(火)	さぼらんてスタッフ	4名
3	Google フォーム活用(デザイン編)	5月30日(火)	さぼらんてスタッフ	3名
4	Google フォーム活用(カスタム編)	6月6日(火)	さぼらんてスタッフ	3名
5	デザイン基礎講座	11月6日(月)	山口芸術短期大学学生	8名
6	文章&デザイン基礎講座(文章編)	3月5日(火)	大内絵美氏	8名
7	文章&デザイン基礎講座(デザイン編)	3月9日(土)	さぼらんてスタッフ	11名

1. 寄付集めは単なる資金調達ではなく、支援を呼びかけるプロセスを通して、NPO が取り組む社会的な課題やサービスを人々に広く伝え理解してもらうことも大切な目的の一つと言える。「ファンドレイジング＝社会課題の解決のための仲間を募る」という視点から、寄付先に選ばれるための「伝え方」を磨くためのワークショップを開催。

2～4. Google が提供するフォーム作成ツール「Google フォーム」を活用することで、事務力や作業効率を上げることができる。作成が簡単で便利だけでなく、気軽に入力、申し込みができることから参加増や、アンケートの回収率の向上にもつながるため活用している団体は多い。まだ使っていない、使いこなせていない団体を対象に導入につながる基本操作の入門編から、様々な機能を理解し活用につなげるためのカスタム編までを実施。

5. 山口芸術短期大学からの要請で、「地位課題解決演習」の一環として、専門分野を学ぶ学生からデザインの基礎を学んだ。

6～7. 助成金申請や新たな担い手の巻き込みのために、「伝わる団体活動」をテーマに、読み手を意識した文章の書き方、デザイン制作を学んだ。デザイン講座では最近活用が広がっている無料デザインアプリ「Canva」を使用した。

(2) 市民活動団体への運営支援

任意団体、NPO 法人を含めた運営支援やこれから立ち上げる団体への支援などの寄り添い支援に力を入れた。

① 運営支援 9 団体 (NPO 法人 1 団体、任意団体 8 団体) へ 38 回

内 容	団体数	回数
団体運営支援(組織、会計、協働など)	5 団体	9 回
立ち上げ支援	3 団体	6 回
オンライン講演会開催への支援	1 団体	3 回
ブログ・HP 等開設支援	1 団体	3 回
事業計画づくり、助成金申請の支援	4 団体	16 回

活動紹介動画作成	1 団体	1 回
----------	------	-----

②アワードへの推薦

「チャレンジやまぐち！地域貢献賞」など3つのアワードに2団体・1企業の推薦を行った。

(3) 企業×NPOのつながりづくりプロジェクト「支え人。」

プロジェクトスタートからちょうど10年。これまで3法人が9社と調印するも、団体の解散や、個人事業の廃業等に伴い、現在2法人4社にとどまっている。毎年、各事業者の店舗で寄付金贈呈式が開催され、団体からの報告・お礼と、企業から応援メッセージを賜る顔の見える関係づくりに努める。

【令和5年度実績】

寄 付 金 総 額 57,099 円

8 年間の寄付総額 1,755,669 円

エントリー NPO 法人：①認定NPO法人こどもステーション山口

②NPO法人あっと

協 力 企 業：① (株)メルシー

② 木のおもちゃ専門店 リンドヴルム

③ ポーラ Sweet

④ (株)モリイケ

その他の連携：NPO法人山口せわやきネットワーク（こども明日花プロジェクト）への「こどもの未来応援企業」提携企業3社、自動販売機設置企業4社

(4) インターンシップ推進事業

山口県インターンシップ推進協議会からの受入れは、夏季に計3名を受け入れた。

■推進協議会からの受け入れ1回目(2名、6日間)

○学 生 山口大学人文学部3年1名、西南女学院大学保健福祉学部3年1名(女子、2名)

○期 間 令和5年8月17日(木)～令和5年8月21日(月)

○受入団体 協力団体2団体

(5) 高校生・大学生リーダー育成事業

高校生とNPOを繋ぎ、身近な地域課題解決のプロジェクト実施を通じて、「自分にも何かができる」「社会の一員として役割を担える」という、高校生の自信と責任を育て、より広い視野を持つ次世代のリーダーの育成を目的とする。また、並行して高校生の学びを支援する大学生メンターの育成も行った。

【ステップ1】発見する：「やまぐちを知るワークショップ」

■実施日：令和5年7月9日(日)10:00～12:00

■場所：野田学園高校 大雨警報のためオンラインに変更

■登壇者：原田尚美さん(元地域おこし協力隊)、葛巻弦喜さん・田中悠介さん(地域おこし協力隊)

■ナビゲーター：黒川康生氏(株式会社丸久人材開発部)

■対象：山口市在住、もしくは市内に通学の高校生

■受講者：18名(中学生4名、高校生8名、大学生3名、教員3名)

(参加校：野田学園中高、付属中学、宇部高専、山高、西京、精華学園)

【ステップ2】実践する：課題解決型学習（PBL）全4回実施

湯田温泉のにぎわい創出をテーマに、2025年完成予定の湯田温泉パークの利活用について、新たな価値の創出を念頭に課題解決に向けた若者視点のプロジェクトを提案。

■参加者：高校生：9名3チーム（西京、山高、松風館、精華学園）

メンター：大学生4名、社会人2名

■PBL指導：黒川康生氏（株式会社丸久人事能力開発部指導役・元防府商工高校教諭）

■スケジュール ※時間：10:00～12:00、場所：①のみカリエンテ、その他はすべてさぼらんて

① 7月16日(日)：テーマ設定

② 8月27日(日)：問題認識

③ 9月23日(日)：課題設定

④ 10月15日(土)：成果報告会

【夏休み特別講座①・②】

① 「プレゼン講座」

■日時：7月28日(金)10:00～12:00

■講師：大草快貴氏（ピクスタ株式会社代表取締役）

■受講者：高校生2名、大学生1名、小学生1名

② 情報発信充実講座

■日時：8月8日(火)10:00～12:00

■講師：松岡菜々美氏（アドストーリーズ代表）

■参加者：一般2名

【ステップ3】発信する：「やまぐち探求サミット」出場

■日時：令和6年2月4日(日)

■場所：山口県セミナーパーク

■参加：1チーム3名 ※全体の出場数22校35チーム

■発表内容：若者向けの新しいスタイルの講演会「カンファレンス」の提案

（6）ボランティア募集の発信強化

さぼらんてへの相談のうち、「ボランティア活動をしてみたい」が1割あり、コロナ禍でボランティアが集まりにくい団体にもニーズがあることから、引き続きボランティア募集の情報発信に努めた。

①ホームページで市民に発信

トップページに新情報を3件ずつ掲載、表示画面も関連画像を加えて視覚的にわかりやすく、情報も項目ごとに整理して掲載した。また、ホームページのボランティア情報を簡単に印刷できるようにした。

②拠点で市民に発信

さぼらんて入口に「ボランティアコーナー」を設置して、ホームページのボランティア情報を印刷し掲示するとともに、持ち帰りできるようにした。随時募集の情報を保存版として1枚にまとめて配布した。

③SNSで発信

ホームページに掲載したボランティア募集情報をさぼらんてのSNS（公式LINEとボランティア情報に特化したInstagram）でも発信し、市民や団体へからも拡散できるようにした。

(7) その他

山口芸術短期大学 PBL 協力

「地域課題解決演習（PBL）の授業の一環で、学生が「市民活動の推進」をテーマに取り組むにあたり実践の場を提供。学生企画による参加型展示や、ミニデザイン講座、看板などのコンテンツの提案があり、市民活動啓発に主体的に参画していただいた。

5 協働促進・ネットワークに関する業務

(1) 円卓会議

社会課題を解決するために、その社会課題やテーマに関わる団体、企業、行政、個人が集まり、フラットに話し合える場「円卓会議」を企画・開催した。

- ① 環境保全活動への意識醸成をテーマにした円卓会議（8／18）
- ② インターンシップ円卓会議（8／21）
- ③ 環境円卓会議「COOL CHOICE チャレンジコンテスト審査会」（1／15）
- ④ 「学校に行かない子どもの居場所づくり」円卓会議（10／21）
- ⑤ 「学校にいかない子どもの居場所づくり」円卓会議フォローアップ会（11／11）
- ⑥ 第1回 生理サミット in 山口（12／15）
- ⑦ 第2回 生理サミット in 山口（3／10）
- ⑧ 第4回外国ルーツのこども支援ネットワーク会議（6／21）

テーマ（開催回数）	持ち込み団体	参加者属性、のべ人数
環境保全（3）…①②③	さぼらんて	行政、企業、市民団体 34名
学校に行かない子どもの居場所づくり（2）…④⑤	山口県こども食堂・子どもの居場所ネットワーク	学校関係者、市民団体、その他関係機関 17名
生理サミット in 山口（2）…⑥⑦	.Style	医療・福祉関係者、市民団体、当事者、その他関係者 20名
外国ルーツの子ども支援ネットワーク会議（1）…⑧	外国ルーツの子ども支援実行委員会	行政、学校関係者、市民団体、大学生、その他関係機関 19名

(2) SDGs 企画事業

さぼらんてでは SDGs 達成目標年である 2030 年までを「行動の 10 年」として、昨年度より、企業や行政、NPO と協働し、誰でも気軽にアクション出来るチャレンジ企画を実施。今年度は、豊かな人間社会を支える自然環境を守るため、山口市が推進している国民運動「COOL CHOICE」をテーマに、個人の意識や理解を深めるきっかけ作りとしてアイデアコンテストを開催した。

■実施期間：令和5年10月1日（日）～令和5年12月31日（日）

■対象：以下の4つの部門別に SDGs に関心のある方なら誰でも参加可

①ゴミ部門 ②買い物部門 ③移動部門 ④シェア部門

■応募方法：環境を守るために行っている取組の写真に取組についての工夫や SDGs についての考えを添えて、取組に合った部門を選択し専用フォームから応募

■審査基準：・誰でも挑戦しやすく、楽しいチャレンジか。

・チャレンジのどのような点が「COOL CHOICE」に該当するか。

・チャレンジに斬新さはあるか、タイトルに工夫はあるか。

■入賞作発表：令和6年1月15日(月)

■表彰式：令和6年2月11日(日)

■協賛企業：株式会社秋川牧園、サン・ロード株式会社、非営利型株式会社市民エネルギーやまぐち株式会社、株式会社丸久、三笠産業株式会社、株式会社山口グランドホテル（五十音順）
チラシ配布や、専用サイト、Instagram開設の他、野菜パウダーおよび、各部門の賞品提供、表彰式の運営等でご協力いただいた。

■応募総数：147件

(3) 複数団体によるコラボイベントの企画

商店街における「山口市ちょうちん祭り」を盛り上げ、かつ効果的に活動PRと活動資金の調達が行えるようコラボによる「チャリティ屋台」を提案し、登録団体へ参加を呼びかけた。併せて、ネットワークづくりにつながるようオリエンテーションも実施。

■参加団体：10団体（のべ79名）

■資金調達合計：350,480円

(4) その他地域づくり関連事業

①地域協力

- ・さぼらんて主催講座（文章&デザイン基礎講座）への参加受け入れ（宮野、鋳銭司）
- ・地域活動へのNPO団体マッチング（大内ドモジカン×山口県ポッチャ協会）
- ・大殿小PTAからの活動・運営相談

(5) その他のネットワーク

① 関係各所との連携に向けて、以下のとおり関係会議等に参加。

日付	会議名	主 催	場 所	参加者
2023/4/13	防府センター視察受入	防府市市民活動支援センター	さぼらんて	3名
2023/5/9	ボランティア入門講座	さぼらんて	山口県立大学	1名
2023/5/17	第4回外国ルーツのこども支援ネットワーク会議	外国ルーツのこども支援実行委員会	山口大学	1名
2023/5/19	保護猫に係る情報交換会	山口市環境衛生課、さぼらんて	さぼらんて	1名
2023/5/26	ボランティア入門講座	さぼらんて	山口大学経済学部	1名
2023/5/26	ボランティア入門講座	さぼらんて	山口大学教育学部	1名
2023/5/31	2023年度第1回県民活動ネットワーク会議	やまぐち県民活動支援センター	パルトピア山口	1名
2023/6/21	第4回外国ルーツのこども支援ネットワーク会議	外国ルーツのこども支援実行委員会	山口大学	1名
2023/10/7	きららでキラリ！県民つながるフェスタ	山口県	きらら博記念公園	2名
2023/10/12	山口高校 探求学習	山口高校	山口高校	1名
2023/10/21	「学校に行かない子どもの居場所づくり」円卓会議	山口県こども食堂・子どもの居場所づくりネットワーク	パルトピア山口	2名
2023/11/11	「学校にいかない子どもの居場所づくり」円卓会議フォローアップの会	さぼらんて	さぼらんて	3名

2023/11/16	山口市ボランティア連絡協議会交流会	山口市社会福祉協議会	山口県総合保健会館	2名
2023/11/30	山口高校 探求学習	山口高校	山口高校	1名
2023/12/15	生理サミット 2023 in 山口	.Styke	さぼらんて	2名
2024/1/15	環境円卓会議「COOL CHOICE チャレンジコンテスト審査会」	さぼらんて	さぼらんて	4名
2024/1/31	県民活動セミナー 徳山商工高校	NPO 法人やまぐち県民ネット21	山口県立徳山商工高校	1名
2023/2/2	山口市社会福祉協議会との情報交換会	山口市社会福祉協議会、さぼらんて	さぼらんて	2名
2024/2/5	協働ネットワーク強化による県民活動促進業務「情報共有会議」第1回	山口県(NPO 法人やまぐち県民ネット21)	防府市市民活動支援センター	2名
2024/2/8	山口高校 探求学習	山口高校	山口高校	1名
2024/2/8	「未来を考える座談会(未来座)」	小郡中学校	小郡中学校	2名
2024/2/11	脱炭素まちづくりカレッジ	一般社団法人 全国ご当地エネルギー協会	さぼらんて	4名
2024/2/22	先輩センターに聞いてみよう(いわくに市民活動支援センター)	NPO 法人やまぐち県民ネット21	Zoom	3名
2024/2/22	先輩センターに聞いてみよう(いわくに市民活動支援センター)	NPO 法人やまぐち県民ネット21	さぼらんて	3名
2024/2/29	2023 年度第2回県民活動ネットワーク会議	やまぐち県民活動支援センター	パルトピア山口	1名
2024/2/29	協働ネットワーク強化による県民活動促進業務「情報共有会議」第2回	山口県(やまぐち県民ネット21)	パルトピア山口	1名
2024/3/10	第2回 生理サミット in 山口	.Style	さぼらんて	2名
2024/3/14	山口高校 探求学習発表会	山口高校	山口高校	1名
2024/3/18	先輩センターに聞いてみよう(山陽小野田市民活動支援センター)	NPO 法人やまぐち県民ネット21	Zoom	4名
2024/3/19	協働ネットワーク強化による県民活動促進業務「情報共有会議」第2回	山口県(やまぐち県民ネット21)	パルトピア山口	2名

【審議会等】

日付	会議名	主 催	場 所	参加者
2022/7/13	「チャレンジやまぐち! 地域貢献賞」選考委員会	山口県	山口県庁	1名

6 市民活動団体事務局支援

専属の職員や拠点を持たない団体が活動しやすいように支援。

(1) 市民活動団体登録制度の運用

○令和4年度末 登録団体数：330団体（前年度322団体）

＜NPO法人44（内認定NPO法人3）団体、

その他の法人9団体、任意団体276団体＞

新規登録団体数： 10 団体

解散団体数： 3 団体

(2) 登録団体へのサービス提供

①場の利用による支援

- ・団体BOX利用：要望のあった団体に、その都度設置した。

利用団体数：25 団体

- ・会議室の提供：利用件数： 366 件

利用団体数：41 団体

- ・市民活動団体持ち込みイベントへの提供

利用件数：148 件（延べ利用日数183日）

利用団体数：20 団体

- ・印刷機材の提供：利用件数： 183 件

利用団体数：33 団体

②事務局機能の代行による支援

郵送物等の受け取り、イベント・講座等の「連絡取次窓口」として、市民活動団体事務局機能を一部代行。イベント・講座等の「連絡取次窓口」利用件数：21 件

③広報支援

- 「さぼらんての広報紙」発送時の同封サービス

「さぼらんての広報紙」送付時に、登録市民活動団体の情報紙やチラシを同封して送付した。

なお、送付作業への協力を得ることで、協力団体同士の情報交換を併せて実施。

利用団体数：15 団体（偶数月発送作業）

- マスコミ等への広報活動の助言

市民活動団体行事等において、随時、マスコミ等への記者配布等の助言を行った。

- ホームページの団体行事カレンダーへの掲載

持込まれた団体のイベントチラシなどの情報は全て、ホームページの団体行事に反映した。

④機材貸出による支援

貸出機材件数：312 件

□ワイヤレスマイク一式	10 件	□マルチプロジェクター	26 件
□パイプ椅子	10 件	□ウェブカメラ	6 件
□イーゼル	64 件	□ポット	4 件
□缶バッチマシン	5 件	□スピーカーフォン	12 件
□モニター	29 件	□台車	45 件
□屋台	50 件	□その他	98 件

7 その他の事業

(1) 館内募金箱の設置

東日本復興支援のため、さぼらんてでは寄付やカンパを募り、山口市内から東日本復興支援活動をする市民活動団体へと配分しました。

寄付金総額 29,042 円

寄付先 ①りす会山口

②福島～山口いのちの会

③山口災害救援

Ⅱ 運 営

1 職員体制

職員の内外研修により市民活動のみならず、地域づくりへの支援力の向上に努めた。また、感染対策を徹底した施設管理、利用者保護に努めた。通常時は、ローテーション勤務により平日については4～6名、休祭日については2～3名の職員配置を確保し、車の乗り入れ可能な開館1時間前の9時から対応した。

○事業スタッフ5名（常勤4名、非常勤1名）

○経理スタッフ1名

○広報スタッフ3名

○学生スタッフ4名

＊ボランティアコーディネーション力3級取得者2名配置＜NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会認定＞

＊NPO法人事務力検定初級2名配置

2 意見聴取

「さぼらんて」への意見・要望を、下記のとおり随時聴取し、運営の参考とした。

○市民活動団体来所時及び相談対応時における意見の聞き取り。

○「さぼらんてだより」同封作業時に協力市民活動団体から聞き取り。

○講座開催時の参加者アンケートによる把握。

○ええやん新聞における「モニタースタッフへのヒアリング」、「読者アンケート」を実施し、これまで市民活動と関わりのなかった人の意見の聞き取り。

○団体訪問や取材時における団体運営課題などの聞き取り。

○インターンシップ時にもワークを行い、幅広い世代の人と社会課題意識の掘り下げ。

3 定例連絡会等

「さぼらんて」設置者の山口市協働推進課と運営NPO職員と、よりよい市民活動支援に向けて、連絡会を実施。事業実施におけるスムーズな連携、市民活動支援の意義の共有などができた。

【協働推進課情報交換会等】

日付	内 容	担当課	さぼらんて
2023/5/11	年間事業計画等の共有	2名	4名
2023/6/22	事業の進捗について	2名	4名
2023/8/3	事業の進捗について	2名	4名
2023/9/19	事業の進捗について	2名	4名
2023/10/31	事業の進捗について	2名	5名
2023/12/21	事業の進捗について	2名	5名
2023/12/15	事業の進捗について	2名	5名
2024/2/8	事業の進捗について	2名	5名

2024/3/7	年間事業進捗と次年度事業について	2名	5名
----------	------------------	----	----

4 職員研修

中間支援力向上のために、内外多数の講座・研修に参加し、参加後は職員間で内容を共有する時間を持った。今年度はコロナ影響も緩和され、対面式の講座に参加する機会が増えた。

研修等一覧

① 運営支援のための講座・研修等 (35回のべ61名参加)

日時	内 容	主催	場所	参加者
2023/4/21	中間支援組織人材学校「春の合宿研修」	中国5県中間支援組織連絡協議会	北長瀬未来ふれあい公園（岡山）	1名
2023/5/12	中間支援学校振り返り会	NPO 法人市民プロデュース	やまぐち県民活動支援センター	1名
2023/5/16	産業保健セミナー「心理学を自己理解に活かす ～自分を知り、人間関係を意識しながら、仕事をし易くしましょう～」	山口産業保健総合支援センター	山口県健康づくりセンター	1名
2023/5/31	やまぐち地域経営ネットワーク設立総会	やまぐち地域経営ネットワーク	山口県教育会館	1名
2023/6/23	山口市人権学習講座（ヤングケアラーの現状と支援）	山口市人権推進課	大内地域交流センター	2名
2023/8/4	飼主のいない猫不妊去勢手術費助成制度説明会	環境衛生課	山口市不燃物中間処理センター	1名
2023/8/4	kintone Caf?	kintone Caf? 山口	産業交流スペース Megriba	2名
2023/9/7	Chu-Net 定例ランチミーティング	Chu-Net	Zoom	1名
2023/9/28	協働のファシリテーション基礎講座	NPO 法人やまぐち県民ネット21	Zoom	4名
2023/10/14	協働事業に関する専門家センター訪問研修	やまぐち県民活動支援センター	さぼらんて	5名
2023/10/21	こどもまんなかフォーラム	山口県こども食堂・子どもの居場所づくりネットワーク	パルトピア 山口	1名
2023/11/6	ミニデザイン講座	山口芸術短期大学	さぼらんて	4名
2023/11/7	メタファシリテーション講座体験編	やまぐち県民活動支援センター	Zoom	3名
2023/11/20	メタファシリテーション講座（実習編）	やまぐち県民活動支援センター	パルトピア 山口	3名
2023/11/26	河村財団創立30周年記念講演	河村芳邦記念青少年育成財団	パルトピア 山口	1名
2023/11/27	『つなぎの手帖』から学ぶ実務的なコ	NPO 法人やまぐ	パルトピア	2名

	ーディネーション	ち県民ネット	山口	
2023/11/27	HAPPY ぼうさいプロジェクト「みんなでき取り組みたい防災」	やまぐち県民活動支援センター	パルトピア山口	2名
2023/11/30	協働のお悩み解決セミナー～テーマ①「官民」協働に関するお悩み	NPO 法人やまぐち県民ネット 21	Zoom	3名
2023/12/5	寄付で実現した社会貢献教育の現在地とこれから	日本ファンドレイジング協会	Youtube リアルタイム配信	1名
2023/12/7	【協働のお悩み解決セミナー】 テーマ②「多様な主体」に関するお悩み	NPO 法人やまぐち県民ネット 21	Zoom	4名
2023/12/8	春インターンシップ等にむけての 緊急ミーティング	山口県インターンシップ推進協議会	Zoom	1名
2023/12/8	コミュニティ財団オンライン公募説明会&セミナー	一般社団法人全国コミュニティ財団協会	Zoom	1名
2024/1/12	アンガーマネージメントを使ってハラスメント防止を学ぼう	産業保健総合支援センター	パルトピアやまぐち	1名
2024/1/18	生成 AI「Microsoft Copilot」を全力で活用しよう	よろず支援拠点山口	オンライン	1名
2024/1/22	Canva で作業時間を短縮！すぐに実践できるデータ整理のポイント	よろず支援拠点山口	オンライン	1名
2024/2/2	弁護士が教える NPO のための契約のいろは	やまぐち県民活動支援センター	オンライン	3名
2024/2/6	NPO 法の認定基準における受取寄付金とその返礼について	NPO 法人会計基準協議会	オンライン	2名
2024/2/9	作業時間短縮 Canva おすすめ時短テク 10 選	よろず支援拠点山口	オンライン	1名
2024/2/23	プロボノ交流会	KiTeNe やまぐち	KDDI 維新ホール	1名
2024/3/11	コミュニティマネジメントセミナー「強くあたたかい組織のつくり方」	やまぐち県民活動支援センター	パルトピアやまぐち	1名
2024/3/19	NPO×SDGs SDGs 勉強会	NPO 法人やまぐち県民ネット 21	パルトピア山口	1名
2024/3/28	現役世代ボランティア受け入れ力アップ講座 「実践者に聞こう！ 働きながら、子育てしながら、地域でボランティアする人を呼び込む工夫と環境づくり」	大阪市	Zoom	1名

■令和5年(2023 年)度ほっとさろん中市「まちのえき」事業報告■

平成15年4月20日、市民の交流の場となる施設【ほっとさろん中市「まちのえき」】が山口市中心商店街：中市商店街に設置され、高齢者等交流をテーマとした事業が始まりました。

平成15～18年度は高齢者を中心とした幅広い世代交流をテーマに、平成19～24年度は「ひと」と「まち」をつなぐ」をテーマに、平成25～令和元年度は高齢者同士の交流をテーマに、令和2年度からはフリーマーケットも織り交ぜた重層的な交流をテーマにしつつ、特に本年度は「利用者がワクワクできる情報発信」を主要テーマとして事業展開を図りました。

＜「まちのえき」における新型コロナウイルス感染症防止対策＞

- マスクを着用して入館していただく。
- 入口で手の消毒にご協力いただく。
- 入口での検温にご協力いただき、37.5度を超えた場合は入館をご遠慮いただく。
- 交流サロンにおいて、席と席の間の距離をできるだけ離し、大きな声での会話はご遠慮いただく。
- 密閉空間にならないよう随時換気を行う。
- 受付コーナー、各テーブル、まちの保健室内、それぞれにアクリル板を設置し、対面での飛沫防止を心掛ける。
- 利用されたテーブルや椅子、トイレのスイッチ等の消毒を適宜行う。
- トイレ利用時には蓋を閉めて流すように張り紙を掲示。

I 施設管理・運営

高齢者から子どもまで、障がいの有無に関係なく、誰もが気軽に交流できるサロンを商店街に設置し、管理・運営を行いました。

- 開館時間 10:00～16:00
- 休 館 日 水曜日・日曜日・祝日・盆・年末年始
- 施設及び備品類の管理
- 利用者統計 令和4年度利用状況参照

II 休憩・交流

ほっ”と一息つける雰囲気を提供を心がけ、利用される方同士の交流の場や機会を提供しました。

- お茶の提供
- フリーマーケット in まちのえき
人と人とのつながりづくりを目指して、フリーマーケットを開催しました。（施設開館日の10:00～16:00）

III 健康相談（まちの保健室）

プライバシーに配慮した個室に保健師又は助産師、看護師が常駐（1日1人の当番制）し、血圧測定を行いました（新型コロナウイルス感染症防止対策として、健康相談及び体脂肪測定は休止）。

（1）開室日時 10:00～16:00（休室時間12:00～13:00）

※水曜日、土曜日、日曜日、祝日、お盆、年末年始は閉室。

(2) 会 議

対応方法等を共有するための連絡会議を開催しました（年3回）。

(3) 利用状況 令和5年度利用状況参照

IV 情 報

(1) 「まちのえき」リーフレット令和5年度版の発行（660部）

(2) 店頭の情報コーナー設置

(3) 情報誌の発行

○まちのえきだより（月1回 各350部）

「まちのえき」からのお知らせ、皆さんから教えていただいた情報、スタッフのつぶやきなどを掲載しました。

○まちのえきデジタル通信（年2回 各350部）

インターネットを活用した新たな交流を目指して、スマートフォンの活用方法などを掲載しました。

(4) 情報誌の発送

希望者に「まちのえき」の情報誌を発送しました（登録8名）。

(5) SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）での発信

「まちのえき」の状況や商店街の様子、スタッフの日常などを発信しました。

○Instagram

https://www.instagram.com/machinoeki_yamaguchi/

V 移動機器の貸出

○貸出日時 施設開館日の10:00～16:00

○貸出状況

・車いす5回 ・シルバーカー6回

VI そ の 他

○山口市「赤ちゃんの駅」に参加

・4月1日～3月31日

＜令和５年度＞ ほっとサロン中市「まちのえき」 利用状況

(単位：人)

		開館日	利用者 数	1日 平均	イベント 等	まちの 保健室	1日 平均	タウンモビリティ		
								車いす	シルバー カー	ベビー カー
H15～ 19年度		1,469.5	73,607	50	5,831	23,869	16	198	—	332
平成20年度		266.5	14,019	53	1,849	4,759	18	41	—	154
平成21年度		265	14,778	56	2,137	5,268	20	81	6	67
平成22年度		267	14,536	54	1,812	5,624	21	39	9	34
平成23年度		267	17,234	65	1,487	5,562	21	42	9	41
平成24年度		267	18,425	69	1,684	6,657	25	25	26	31
平成25年度		267	21,759	81	2,262	6,498	24	32	29	32
平成26年度		268	23,592	88	2,769	5,829	22	20	31	34
平成27年度		264	23,869	90	2,565	5,153	21	13	29	30
平成28年度		267	20,275	76	2,577	4,705	19	11	16	22
平成29年度		265	19,693	74	2,629	3,683	15	11	11	11
平成30年度		239	17,694	74	2,642	3,547	16	6	6	4
令和元年度		224	17,176	77	2,535	3,397	16	8	3	3
令和2年度		215	13,297	62	—	2,362	12	10	2	0
令和3年度		222	15,603	70	—	1,651	10	3	4	0
令和4年度		233	16,736	72	—	1,367	7	3	1	—
令和5年度	4月	20	1,561	78	—	114	7	2	0	—
	5月	20	1,492	75	—	111	7	1	1	—
	6月	22	1,476	67	—	120	7	0	1	—
	7月	21	1,256	60	—	103	6	0	1	—
	8月	19	1,116	59	—	80	6	0	0	—
	9月	20	1,389	69	—	105	7	0	2	—
	10月	21	1,885	90	—	105	6	0	0	—
	11月	19	1,503	79	—	109	7	0	0	—
	12月	20	1,452	73	—	92	6	0	0	—
	1月	19	1,394	73	—	95	6	1	1	—
	2月	19	1,379	73	—	91	6	0	0	—
	3月	22	1,756	80	—	100	6	1	0	—
	計	242	17,659	73	—	1,225	6	5	6	—
合 計		5508.0	359,952	65	32,779	91,156	18	548	188	795

■令和4年度 こども明日花プロジェクト 事業報告（案）■

I 経過・内容

「子どもの貧困問題」の解決に向け、2016年5月14日発足式で活動開始を発表した「こども明日花プロジェクト」の活動第8事業年度は、長く続いたコロナ禍が2023年5月、新型コロナの5類移行により、こども食堂が会食を再開するなど、以前の状態に戻ってきました。学習支援や居場所づくりは、感染対策を講じ、継続しており、持ち帰りとしていた食事は以前のように、みんなで一緒に食べることができるようになりました。子どもたちとボランティアの皆さんが食べながら、お話しし、笑顔があふれる楽しい時間が戻ってきました。

一方、コロナ禍は収まりつつある中、電気代や食品など物価高が続いており、依然として、厳しい状況にあるひとり親家庭など子育て家庭を応援する「みんなにエール！弁当」や「ごちそうさまプロジェクト」、さらに、「フードパントリー」など継続しました。

また、昨年度も、各種の民間助成金を活用して、県内のこども食堂などと連携したフードパントリーを継続して実施しました。また、休眠預金活用事業の通常枠によるこども食堂ネットワークの強化や、2年目となった日本財団による「子ども第三の居場所・拠点」は地元の行政や関係機関などの協力の下、居場所などの事業を実施しました。

5年目となった県委託事業「こども食堂サポート事業」は、会食の再開に向けての相談対応や支援を行い、特にコロナ収束により、民間の緊急支援の助成金が減っており、資金調達といった課題を抱えるこども食堂も増え続けており、今後、支援体制の強化を図っていく必要があります。また、企業や団体からの食品提供は増えており、東京の民間企業からの農協での農産物購入費への助成金についても、こども食堂にkintoneを活用して、申請を勧めており、利用も増えています。

活動当初から掲げている「ファンドレイジング～行政に頼らない資金調達」についても、活動開始のきっかけとなった山口県共同募金会の「テーマ募金」や「子どもの未来応援企業」協定企業からの継続寄付、さらにマンスリーサポーターも増えており、御寄付いただく金額も着実に増え、活動の大きな支えになっています。多くの企業や個人の皆さんから期待に応えるため、困窮する家庭などを包括して支える仕組み、システムづくりに取り組んでまいります。こども家庭庁が掲げる「こどもまんなか社会」実現を目指して、行政も企業、地域などを巻き込み、一体となって、取組を進めてまいります。

当プロジェクトがこれまでの実績とネットワークをもとに、取組の加速化、強化をリードする立場として役割を果たすとともに、事業の言語化と丁寧なコミュニケーションにより、理解と支援を広げ、活動の充実強化を図ってまいります。

<ご報告>

11月20日県庁において、県知事から令和5年度山口県選奨（教育功労部門）をいただきました。これは令和2年度教育長表彰（社会教育の功労）に続くものです。

○プロジェクト名 「こども明日花プロジェクト」

○ビジョン どんな環境に生まれ育っても、子どもが明日（あす）に希望を持てる社会を実現する

○ミッション

1. 子どもたちが安心して過ごせる居場所と学びの環境を提供し、自立を支援する
2. 身近な大人が子どもたちを見守り、受け止める地域をつくる

3. 生活困窮など困難を抱える家庭が地域で孤立しないよう見守り、支える

○事業内容

- ・「学習支援」無料学習会（食事付き）、リモート学習会
- ・「生活支援」食事支援（こども食堂）、フードパントリー（食品配布）
- ・「居場所づくり」課題を抱える子どもたちが安心できる居場所づくり
- ・普及啓発・人材育成などの中間支援、地域の包括支援の体制づくり
- ・生活困窮家庭を支える食料等の提供など

Ⅱ 事業内容

1. 学習支援

（1）無料学習会

毎週土曜日、午前中、主にひとり親世帯や就学援助対象世帯などの中学生を対象に無料学習会（昼食付）を山口市内5カ所+1カ所（阿知須：食事なし）で実施した。

会場	期間	回数	延べ 参加者数	ボランティア		
				学習	調理	合計
湯田	2023.4～2024.3	41回	158人	199人	123人	322人
平川	2023.4～2024.3	31回	129人	96人	64人	160人
小郡	2023.4～2024.3	35回	151人	119人	57人	176人
大内	2023.4～2024.3	46回	189人	155人	82人	237人
宮野	2023.4～2024.3	32回	139人	81人	30人	111人
	5カ所 計	185回	766人	650人	356人	1,006人
阿知須	2023.4～2024.3	43回	41人	※学習教室スマイルと合同		

※阿知須は2022年4月から地元団体と合同実施。

※大内会場は、土曜午後は部活等で参加しにくいとの意見があり、2022年9月から木曜夕方に変更（夕食準備）し、参加者も増加した。

（2）施設への派遣（児童養護施設）

入所している児童・生徒の学習補助ボランティアを派遣してきたが、新型コロナウイルス感染拡大以降、中止中。

派遣先	期間	回数	学習ボランティア	備考
吉敷愛児園	—	一回	— 人	その他送迎ボランティア

（3）リモート学習会

家が遠いなどの理由で学習会に参加できない中学3年生にタブレットと無線ルーター（必要な家庭）を貸し出し、毎週木曜19～21時、ボランティアによるリモート学習会を実施（参加者3人、5月11日から2月29日まで、のべ39回69人参加）。

2. 居場所づくり事業（山口市委託事業）

主にひとり親世帯の子どもを対象とした「子どもの生活・学習支援事業（上記の学習支援の一部を含む）」を受託、毎週土曜（午後3～7時）、小中学生への学習支援と食事支援（夕食）実施。
※感染対策を取り、実施した。

会場	期間	回数	延べ参加者数	ボランティア		
				学習	調理	合計
湯田	2023.4~2024.3	38 回	301 人	210 人	100 人	310 人

※「夏のイベント・渚ツアー」2023 年 7 月 29 日（土）

様々な「体験」の場を提供するため、毎年、海や山などにバスツアーを実施しており、今年は下関市角倉海岸で様々な夏の海の体験など行った。参加は 32 人。

※オープン・ハウス（なのはなハウス）

平日、毎週木曜と、夏休み期間中（のべ 9 回）、なのはなハウスを開放し、不登校の中学生の受入や、夏休みで家では暑くて勉強できないなどのこどもたちが利用し、昼食等も提供した。夏休み期間中は 9 日でのべ 90 人が利用した。

※「新入学記念品」プレゼント

学習支援・居場所づくりに参加の子どもたちや、市内の主任児童委員などから寄せられた情報に基づき、**小学校 人、中学校 人、高校 人**に記念品贈呈。

3. 子どもの見守り強化事業（山口市委託事業）

コロナ禍にあって、孤立・困窮する子育て家庭等を弁当配布等で支えた全国のこども食堂などの活動が評価され、2020 年度国の第 3 次補正予算で「こども食堂等が要保護児童対策地域協議会の支援家庭を訪問、状況把握や食事提供（弁当）など」を行う「見守り強化事業」が開始。山口市は 2020 年 10 月から始まり、当法人も委託を受け、引き続き、各地域の見守り支援員の方々の協力を得て、見守りと弁当配布等を実施。

4. ひとり親家庭への支援（シングルカフェ）

ひとり親家庭の保護者グループ・Style（ドットスタイル）との共催で、当事者同士が支援に関する情報共有や意見交換を行ってきたが、コロナ禍が続く中、フードバンク山口などが主催する子育て家庭などへのフードパントリーなどと連携して実施した。

- ① 6 月 18 日(土)10~12 時 山口市「さぼらんて」60 人 食品配布会
- ② 8 月 20 日(日)14~16 時 山口市 親子 5 組 近況を話す茶話会、カラフルゼリーソーダづくり
- ③ 10 月 22 日(日)14~16 時 山口市 3 人 商店街のカフェスペースでカフェ開催
- ④ 1 月 21 日(日)14~16 時 山口市 1 組の親子+3 人 アロマ講座

※「サンタのケーキ便」

コロナ禍のひとり親家庭支援をきっかけに、県内各地に店舗のある「果子乃季（あさひ製菓株）」の協力を得て、2020 年 12 月から毎年、開催。2020 年 150 家庭、2021 年 200 個、2022 年以降は 300 個を目指してクラウドファンディングに挑戦

5. 情報発信

- ① フェイスブック 平成 28 年 4 月開設
- ② ホームページ 平成 29 年 1 月開設、ブログ掲載
- ③ ニュースレター（年 3 回）令和 5 年春、夏・秋、令和 6 年新年
- ④ 地域情報新聞ほっぷ 平成 28 年 2 月から、毎月 1 回告知記事を無料掲載
- ⑤ 令和 3 年度活動報告（300 部）

6. 報道

①新聞

10月22日（日）読売新聞「こどもまんなかフォーラム」

1月27日（土）山口新聞「JA山口県がこども食堂ネットワークと体験等連携」

2月 3日（土）毎日新聞「JA山口県、こども食堂に新米寄付」

②テレビ

10月23日（月）YAB山口朝日放送「ふれあいフェスタ収益金を寄付」

1月26日（金）TYSテレビ山口「JA山口県がこども食堂を支援」

7. 普及啓発

（1）地域円卓会議

2023年10月21日（土）フリースクール全国ネットワーク代表理事の江川和弥さんを招き、「学校に行かない子どもの居場所づくり」円卓会議を開催。フリースクール関係者、学校、保護者、放課後デイ関係者など。参加者40人

下の「こどもまんなかフォーラム～こども食堂・子どもの居場所～」と同時開催

（2）セミナー

「こどもまんなかフォーラム～こども食堂と子どもの居場所」（2023年10月21日）

ふくしまこども食堂ネットワーク代表で20年前から福島県会津若松市でフリースクールを運営する、江川和弥さんを招き、こども食堂と子どもの居場所についての基調講演と県内の関係団体の代表者等と意見交換を行った。

■パネルディスカッション登壇者：

NPO 法人もりのこえん園長 井出崎小百合

NPO 法人とりで理事長 金本秀韓

KananowaFamily 高校生

コーディネーター：山口東京理科大准教授 福田みのり

■日時・場所：2023年10月21日（土）13:30～16:00

■場所・方法：パルトピアやまぐち（防長青年館）とオンライン併用

■参加者：50人オンライン含む（行政、社協等関係団体、こども食堂、一般）

（3）キッチンカー出動（こども食堂の情報発信）

2021年3月、JT助成金により購入したキッチンカーが各種イベント等への出店を通じ、こども食堂に対するイメージアップ、情報発信を行った。

○松風館高校：5月2日（火）校外活動：ホットドッグ、11月10日（金）文化祭：カレーライス

○アオハルパントリー（パン配布）：8月5日（土）小郡図書館前

○地球子供食堂イベント（ホットドッグ販売）：5月21日（日）山口市中央公園

○防府市自由ヶ丘自治会夏祭り：7月22日（土）カレーライス

8. 人材育成

社会的課題に取り組む「若き担い手（ヤングワーカー）」を育成するため、問題解決に必要な専門的知識を得るために、活動団体訪問や専門家による講演と意見交換を通じて、自ら考え、自ら行動する人材を育成する「あすはなカレッジ」を実施した。今回は日本財団主催のセミナー参加と、「居場所カフェ」実施団体にオンラインでの説明を視聴した。

- ① 日本財団「子ども WEEKEND DAY1」（東京都港区 日本財団ビル）
 2月16日（金）12:30～17:00（1日目 行政・自治体・NPO セクター）
 内 容：日本財団の子ども支援の全体像と今後の方針
 分科会「広げよう！子どもの居場所での包括支援」他
 参加者：学生インターンなど4人
- ② オンライン研修：3月11日（月）14時
 講 師：NPO 法人 FAIRROAD
 内 容：校内居場所カフェによる子どもの居場所支援
 参加者：学生ボランティア、一般など 11人

9. こども食堂・地域食堂プロジェクト

（1）こども食堂

2018年度山口市のふるさと納税を活用したクラウドファンディング事業により、2018年12月から山口市内3地域でこども食堂開設、運営している。

2020年3月以降、コロナ禍で通常開催（会食）を見合わせていたが、2023年5月のコロナ5類移行に伴い、会食を再開している。

地域	開催回数	献立	利用者数	ボランティア	合計
大内	8回	大内地域交流センター	663人	118人	781人
小郡	12回	小郡ふれあいセンター	1,627人	240人	1,867人
吉敷	7回	吉敷地域交流センター	1,050人	225人	1,275人
合計	27回		3,340人	583人	3,923人

※NTT西日本山口支店と共催「ソフトテニス教室」

2022年9月 日 維新記念公園テニスコート（参加者）

（2）小郡中・宮野中「学校朝ごはん」

「朝食を食べてこない」生徒に、ボランティアによる「学校朝ごはん」は小郡中学校長の理解と協力により、2019年6月から毎週水曜に実施したが、新型コロナ以降、感染状況により、実施と再開を繰り返し、2021年1月から休止したが、2023年5月の5類移行に伴い、2023年7月から再開した。

学校名	回数	参加生徒数	ボランティア	合計	備考
小郡中	27回	330人	77人	407人	調理
宮野中	29回	921人	94人	1,015人	パン、果物
合計	56回	1,251人	171人	1,422人	

（3）松風館高校での食事提供

2022年4月開校した県立松風館高校は定時性・通信制高校で、様々な事情のある生徒もいることから、開校以前から食事提供や居場所カフェについて提案し、開校後は文化祭や校外活動でイベント的に年間3～4回食事を提供した。2023年5月コロナ5類移行に伴い、本格的に昼食提供を提案し、7月から毎週火曜に山口県パン工業協同組合の御協力により、当初は1回300個、現在は200個のパンを無料配布。

2023年7月から2024年2月まで、のべ26回、パン6,250個（約4,000人）配布

(4) 新型コロナ緊急支援（詳細は別途記載）

コロナ禍4年目に加え、物価高により、困窮するひとり親家庭など子育て家庭に食料品の詰合せ等を配布した（フードパントリー（2,684件））。「みんなにエール！弁当（のべ5,692食）」「ごちそうさまプロジェクト（737家庭）」も継続実施した。

10. こども食堂サポート事業（山口県委託事業）

こども食堂が地域の子どもたちの居場所の一つとしての役割が期待され、また地域において多世代交流の場としても注目される「こども食堂」を県が普及促進に取り組み、県知事が「3年後に100カ所」にすることを掲げ、2019年度から「こども食堂サポート事業（委託）」を開始。中間支援機関として「山口県こども食堂支援センター」を掲げ、こども食堂の運営や開設について、相談対応や支援を行ってきた。

コロナ禍の間、こども食堂は通常開催（会食）はできないものの、弁当配布やフードパントリーなどで、地域の子育て家庭と関わり続けてきたが、2023年5月の5類移行に伴い、感染対策に配慮しながら、徐々に「会食」を再開するようになり、これまでと同様に、助成金情報、寄付された食料品等の配布など、活動を支援した。

新規開設のペースはおちついたものの、年度当初は165カ所であったが、年度末には177カ所を超えている。

- ① 開設セミナー：当初予定どおり、4か所で開催、合計30人が参加した。
- ② 推進会議：関係機関がこども食堂に関する情報共有を図り、協力して普及促進を目指す「県こども食堂推進会議」は、1回（11月1日）県庁で開催。
- ③ ボランティアセミナー：2月22日（木）周南市の桜ヶ丘高校42人、なお2月9日オンライン説明会は人数が集まらず中止。
- ④ 啓発セミナー：鹿児島県こども食堂支援センター・たくして代表の園田愛実さんを招き7月7日山陽小野田市21人、7月8日長門市16人で実施。
- ⑤ 運営セミナー＆交流会：運営の相談やこども食堂どうしの交流を図るため、5月18日（木）柳井市、6月13日（火）岩国市玖珂、6月24日（土）宇部市で計3回、30人

11. 山口県こども食堂・子どもの居場所ネットワーク（事務局）

(1) 県内企業・団体等からの食料品等寄付の受入

J A山口県と1月26日「こども食堂包括応援連携協定」調印、併せて県内こども食堂にお米3トン寄付、ANAクラウンプラザホテル宇部から食事招待、山口県酪農協同組合からカルピス、出雲ファームから卵2t、山口県パン工業協同組合からパンなど食品等を受け入れ、県内のこども食堂に配布した。また、ゆめタウン（イズミ㈱）、Y A B山口朝日放送や生命保険協会山口県協会から寄付金を受領した。

(2) スキルアップ事業（県子ども子育て応援ファンド助成金「こども食堂特別枠」）

- 5月25日（木）食品衛生講習会（講師：山口県生活衛生課）28人
- 2月27日（火）能登半島地震とこども食堂（（一社）えんまん 八幡真衣さん）19人
- 3月1日（金）下関市、2日（土）山口市：スキルアップ研修会（講師：（一財）こどもサポート財団事務局長 小谷久仁子）39人

(3) 食品支援事業（全国こども食堂支援センター・むすびえ「こども食堂基金」、休眠預金活用事業2021通常枠 助成金活用）

ア 県下一斉フードパントリー（2023 年 7 月）※休眠預金事業

夏休みの食支援を目的に県内 20 カ所 1,110 家庭に食品と米を配布。

イ 冬のフードパントリー（2023 年 12 月）※むすびえ・こども食堂基金事業

県内 29 カ所のこども食堂がのべ 745 家庭に食品と J A 寄付の新米を配布。

（4）安心安全助成 ※休眠預金事業

食品衛生責任者養成講習会受講料、保険料を助成 55 件

（5）こども食堂・農業支援事業（BellAgri(株)からの寄付金）

こども食堂が J A 直売所等での購入代金を助成。2022 年度整備した kintone のシステムによる申請システムにより、こども食堂の申請手続きを簡素化した。

① 県ネットワークのホームページ開設

県ネットワークや子ども食堂に関する情報発信とともに、企業や個人等からの寄付（資金や物資）、ボランティア受入等の受け皿となるホームページを開設している。

1 2. 新型コロナ対策

各種民間助成金等を利用し、主にひとり親家庭や学生に対する支援を行った。

（1）みんなにエール！弁当

コロナ禍で、収入減少など困窮するひとり親家庭を応援する「みんなにエール！弁当」は 2020 年 5 月山口市でスタートし、その後、他市でも実施し、萩市、美祢市、光市、下松市の 4 市では各市担当者や社協職員の協力を得て、継続実施した。

山口市内のがのべ 23 回 4,182 食、4 市で 7 回 1,510 個、合計 30 回 5,692 食配布。

なお、弁当は県飲食業生活衛生同業組合の協力を得て、地元の料飲組合が紹介した飲食店等に注文し、お米は J A 山口県山口・萩統括本部で購入し配布した。

（2）ごちそうさまプロジェクト

ひとり親家庭の「食」支援として、「宅食（食料品の託送）」「食事券（地元料飲組会の協力）」「買物券（丸久）」「お米（県産新米を配達）」を直接、各家庭に届けることとし、丸久、県飲食業生活衛生同業組合、J A 山口県の協力の下、実施した。

今年は 7 月、1 回にまとめて募集、申込のあった全 737 家庭に届けた。

（3）フードパントリー

昨年につき、コロナ禍の子育て家庭を支援するため、7 月、県内各地域のこども食堂と連携した「県下一斉フードパントリー」実施(20 カ所、1,150 家庭)、11 月から「フォローアップパントリー」として、こども食堂 25 カ所が 750 家庭に配布。

山口市では、2021 年 11 月から継続して、毎月、主にひとり親家庭約 50 家庭に定期パントリーを実施（のべ 493 家庭）。なお、事務所内に常設パントリーを設置、随時利用に対応した。

（4）学生パントリー

バイトや仕送り減少で困窮する大学生へのパントリーについて、昨年度につき、山口大と山口県立大で実施。山口大では、大学基金が共催（費用半分負担）し、本部・医学部・工学部でのべ 3 回実施（400 人）、県立大は 100 人に配布した。

1 4. 子ども第三の居場所・萩拠点（2 年目）

事業概要

萩市の萩明倫学舎内に 2022 年 6 月開設した「日本財団子ども第三の居場所・萩拠点」はコミュニティカフェ、居場所づくり、学習支援、こども食堂を実施した。

- ・開所日：2022 年 6 月 17 日(金)
- ・事業内容：
 - ・コミュニティカフェ（誰でも使えるカフェ、子どもの居場所）
 - ・シェアキャンパス（中高生との自由学習スペース）
 - ・小学生向け学習会 毎週土曜午前実施、昼食付き
 - 中学生向け学習会 毎週水曜夕方実施、軽食付き
 - ・こども食堂（毎月 1 回実施、1 回 80 食程度）
- ・運営体制：センター長（非常勤）、マネージャー、スタッフ、調理ボランティア
学習支援ボランティア（大学生など）
- ・支援体制：運営サポート委員会（行政、関係機関、団体等で構成。年 4 回程度）
- ・利用実績：利用のべ人数 4,696 人（子ども 3,292 人、大人 1,404 人）13.4 人/日
こども食堂 12 回開催、のべ 439 食（155 家庭）
学習会 92 回開催、のべ 492 人
各種イベント：21 回実施、のべ 518 人参加
※こども環境 Lab(環境事業団助成) 動植物園等バツアー（12 月 27 日）
海響館バスツアー（12 月 17 日）、サーカスバスツアー（3 月 10 日）
ほっとパントリー(ひとり親家庭対象)2023 年度内 5 回実施、のべ 230 家庭
運営サポート委員会（委員 9 人、4 回開催）
大人の学習会（至誠館大学協力による関係者の勉強会）4 回

1 5. 資金調達

（1）各種助成金等申請

- ・福祉医療機構「令和 5 年度（補正予算）WAM助成」＜2 年目・採択＞
- ・山口県共同募金会（赤い羽根テーマ募金：8 期）＜採択＞
- ・日本財団子ども第三の居場所助成金（萩拠点 3 年目運営費）＜採択＞
- ・休眠預金活用事業 2021 通常枠（むすびえ）3 年間＜3 年目 採択＞
- ・休眠預金活用事業 2023 通常枠（むすびえ）3 年間＜1 年目 採択＞
- ・むすびえ「こども食堂基金」秋募集＜採択：助成事業＞
- ・こども家庭庁「ひとり親家庭等食事支援事業」助成金＜採択＞キッズドアなど
- ・山口県共同募金会（ヤングケアラー）

（2）子どもの未来応援企業（3 社）

2016 年（株）池田建設、サン・ロード（株）
2017 年（株）TAMARU

（3）募金箱（50 ヶ所）

（4）寄附付自動販売機（4 台） ※協力：日本コカコーラ・ウエスト（株）

2016 年 サン・ロード（株）、防長苑
2017 年 マツダ防府工場、山口ザビエル記念聖堂

（5）クラウドファンディング

11～1 月「サンタのケーキ便」目標額 100 万円 達成：36 件、1,011 千円

16. その他

令和5年度山口県選奨「教育功労」受賞（11月20日県庁正庁会議室）

〔参考〕主な活動

- 2023年4月17日 小郡みんな食堂・大内みんな元気食堂 4/30 2023年度開始
- 4月18日 定期パントリー実施（4月、以降、毎月実施）
- 4月20日 山口県共同募金会「テーマ募金」助成金交付式
- 4月21日 ひとり親家庭支援「みんなにエール！弁当（吉敷）」2022年度12回
- 4月28日 萩拠点 2022年度第1回運営サポート委員会開催（年4回開催）
- 5月2日 キッチンカー出動（松風館高校校外活動 ホットドッグ配付）
- 5月6・7日 本願寺山口別院（山口市小郡）でフードパントリー（200家庭）
- 5月11日 山口県央ロータリークラブ25周年記念式典 寄付金贈呈
- 5月21日 「地球子供食堂」チャリティイベント（山口市中央公園）キッチンカー
- 5月27日 居場所づくり事業「野外バーベキュー」（榎野川河川敷公園）
- 6月3日 全国こども食堂支援センター・むすびえ「全国交流会」参加
- 6月9日 萩拠点「萩ほっとパントリー（ひとり親家庭40）」年間5回実施
- 6月13日 こども家庭庁第3回こども居場所部会「関係団体ヒアリング」登壇
- 6月23日 ㈱イズミ 県ネットワーク寄付金贈呈式（ゆめタウン宇部店）
- 6月28日 「地球子供食堂～つながりながリングプロジェクト」収益金寄付贈呈
- 7月5日 小郡中・宮野中の学校朝ごはん再開
- 7月7・8日 こども食堂啓発セミナー：鹿児島県こども食堂支援センター代表園田愛美さん講演（山陽小野田市、長門市）
- 7月11日 松風館高校 昼食用パンの配布開始（毎週1回）
- 7月15～8月2日「県下一斉フードパントリー」実施（20カ所、1,110家庭）
- 7月21日 「ごちそうさまプロジェクトプラス」募集開始（7月23日まで）
- 7月22日 キッチンカー出動（防府市自由ヶ丘自治会夏祭り）
- 7月29日 明日花「夏の渚ツアー」実施（下関市豊北町角倉海岸）
- 7月20日 県下一斉パントリー」山口会場、ユニクロと連携事業
- 8月5日 高校生等「アオハル・パントリー」（山口市立小郡図書館）
- 8月10日 出雲ファーム「卵2,000個 贈呈式」（山口市徳地）
- 8月24日 萩市「みんなにエール！弁当」実施（9月14日）
- 9月2日 中国ブロックこども食堂各県地域ネットワーク研修会（山口市）
- 9月12日 山口県央ロータリークラブ定例会「卓話」寄付金受領
- 9月16日 「えがお食堂よしき」3年半ぶりに活動再開
- 9月29日 美祢市「みんなにエール！弁当」実施
- 10月6日 明治安田生命山口支社 寄付金贈呈式
- 10月8日 周南地区ちるちあねっとイベント+むすびえワークショップ
- 10月16日 休眠預金2021実行団体研修会（佐賀市）
- 10月19日 YAB山口朝日放送：イベント収益を県ネットワークへ寄付贈呈式
- 10月21日 「こどもまんなかフォーラム」開催（講師：江川和弥福島県ネット代表）
- 10月27日・11月15日「みんなにエール！弁当 in 光市」

- 10月28日 NTT西日本山口支社「ソフトテニス練習会」(維新百年公園)
- 11月 1日 第7回こども食堂推進会議(受託事業、県庁)
- 11月10日・12月8日「みんなにエール! 弁当 in 下松市」
- 11月11日 萩拠点「新米を食する会」(協力: JA 山口県萩統括本部)
- 11月22日 JANPIA 休眠預金実行団体・企業マッチング会(福岡市)
- 11月30日 県ネットワーク「生命保険協会」寄付贈呈式(宇部市)
- 12月 1日 「サンタのケーキ便」受付開始(県内 300 家庭に抽選)クラウドファンディング
- 12月10日 立正佼成会山口教会「一食をささげる運動」寄付金贈呈式(山口市)
- 12月12日~30日 冬のフードパントリー(こども食堂 29 か所 745 家庭)
- 12月16日 明日花ボランティア報告会(さぼらんて)
- 12月17日 萩 Waku② BASE(わくわくベース)海響館バスツアー(下関市)
- 12月18日 山口大学でフードパントリー開催(本部、19 日工学部、20 日医学部)
- 12月26日 JA 山口県周防大島統括本部 新米贈呈式、意見交換会
- 12月27日 萩 Waku② BASE(わくわくベース)宇部市動植物園等バスツアー
- 12月30日 年越しパントリー(200 家庭)+お節セット(誠和寄付 100 セット)
- 2023 年 1月 「赤い羽根テーマ型募金(2023 年度)」募集開始(~3 月末)
- 1月12~13日 北九州市ネットワーク研修会参加(講師)
- 1月21日 むすびえ委託「こども食堂交流創出事業」(1/21 小郡、2/17 川中)
- 1月26日 JA 山口県と県ネットワーク「包括連携協定」調印、新米贈呈式
- 2月 2日 山口県立大学でフードパントリー開催(100 セット)
- 2月 8日 ベルアグリ(東京)長谷さんと JA 山口県訪問
- 2月16日 あすはなカレッジ「日本財団子ども WEEKEND」4 人参加
- 2月17日 山口市更生保護女性の会研修会 事例発表・意見交換
- 2月24日 全国こども食堂支援センターむすびえ「全国交流会」(東京都) 5 人
- 2月27日 スキルアップ研修会「能登半島地震とこども食堂」八幡さん(オンライン)
- 3月1日下関・2日山口 同上「(一財)こどもサポート財団小谷久仁子事務局長」
- 3月 1日 新潟県「こども食堂ネットワーク行政職員研修会」講師(オンライン)
- 3月10日 萩 Waku② BASE(わくわくベース)サーカスバスツアー(山陽小野田市)
- 3月11日 あすはなカレッジNPO 法人 FAIRROAD「校内居場所カフェ」(オンライン)
- 3月21日 山口ライオンズクラブ「新入学祝品」寄付金贈呈式

<会議・講演等> 22回 798人

時期	対象・名称	場所	人数
2023.4.28	萩拠点 第1回運営サポート委員会(全4回)	萩拠点 Waku②BASE	23人
5.11	山口県央ロータリークラブ25周年記念式典	山口グランドホテル	50人
5.18	こども食堂運営セミナー&交流会(全3回)	柳井市・岩国市玖珂・宇部市	30人
6.3	全国こども食堂支援センターむすびえ全国交流会	東京都	2人
6.13	こども家庭庁「子どもの居場所部会」意見発表	オンライン	120人
7.7-8	こども食堂啓発セミナー(鹿児島県園田さん)	厚狭地域交流センター他	37人
9.1	中国ブロックこども食堂ネットワーク会議	山口市	20人
9.12	山口県央ロータリークラブ定例会 卓話	山口グランドホテル	30人
10.21	こどもまんなかフォーラム(福島県江川さん)	山口市	40人
11.1	県こども食堂推進会議	山口市(県庁)	25人
11.14	こども食堂 開設セミナー(全4回)	岩国市・宇部市他	30人
11.22	JANPIA 休眠預金実行団体企業マッチング	福岡市	40人
12.16	明日花ボランティア報告会	さぼらんて	15人
12.26	J A 山口県周防大島統括本部新米贈呈式	J A 山口県周防大島統括本部	10人
2024.2.16	あすはなカレッジ「日本財団」こども WEEKEND	東京都	4人
2.17	山口市更生保護女性の会研修会講師	山口県労働福祉会館	180人
2.22	こども食堂 ボランティアセミナー(1回)	周南市桜ヶ丘高校	42人
2.24	全国こども食堂支援センターむすびえ全国交流会	東京都	5人
2.27	スキルアップ研修会「能登半島地震とこども食堂」	オンライン	15人
3.1-2	スキルアップ研修会「(一社)こどもサポート財団」	下関市・山口市	39人
3.1	新潟県こども食堂ネットワーク行政研修会	オンライン	30人
3.11	あすはなカレッジ「FAIRROAD」(大阪市)	オンライン	11人